

くさのクローバー新聞

新年あけましておめでとうござります。

本年も皆様にとってより良い年でありますように！
今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



花粉症の初期療法について

初期療法とは、花粉が飛散開始する時から治療を開始する方法です。

花粉を繰り返し浴びて、鼻の粘膜が過敏になると、ごく少量の花粉でも強い症状が現れるようになり、薬を適切に使っても改善させるのは徐々に困難になっていきます。

そこで、症状が出現する前から薬を服用して、鼻の粘膜が過敏のなるのを抑え、症状をコントロールしやすくする初期療法が行われます。

初期療法の開始時期

飛散開始日からの服用が理想となっておりますが、飛散開始日を知るのもなかなか難しいと思います。当院では、飛散開始予測日の1週間前を推奨しています。

佐賀県の飛散開始予測日が毎年おおよそ2月10日ですので、基本的には1月末から2月初旬の間に初期療法を開始するといよいでしょう。

スギ山近くにお住まいの方、花粉症が重症な方、通年性アレルギー性鼻炎タニ、ハウスダストもある方は、早めに初期療法をした方がよいと思います。

初期療法の利点

- 症状が出る時期を遅らせることができます。
- 症状を軽くさせることができます。
- 症状が終わる時期を早めることができます。



今年の花粉飛散量は昨年より多いと予想されています。花粉症の時期は受験や年度末の仕事で大変な時期でもありますし、今年は新型コロナウイルス感染症もあり、周りの人の目を考えると、くしゃみや鼻水は出来るだけ出ないほうが良いと思います。花粉症の時期（2～4月）に比べて1月は比較的待合室の混雑は少ないです。様々な観点から考えても、今年こそ早めに花粉症の初期療法を行っていただいたほうがよいと思います！

今回はクリスマスの企画でみなさんにサンタさんへのメッセージを書いてもらいました♡
こんなにたくさん集まりました!(^^)!
メッセージたくさん書いてくれてありがとうございました！
みなさんの元にはサンタさんはきましたか？☆
今年も素敵な1年にしましょうね！

